

また、従来から実施しておりま
す、妊婦健康診査の助成、不妊治
療の助成、産後ケア事業、乳幼児
健診、発達支援が必要な子どもへ
の対応、さらに平成30年度から
は、産後うつの子防や新生児への
虐待予防等を図る観点から、産後
2週間、産後1か月など、出産後
間もない時期からの産婦に対する
支援の強化を図るため、「産婦健
康診査事業」を新規事業として実
施し、安心して子どもを産み育て
ることができるよう支援体制を整
備し、ライフステージごとに切れ
目のない母子保健サービスを充実
させ推進してまいります。

◆歯と口腔の健康について

全身の健康につながる歯と口
腔の健康づくりにつきましては、
「紀宝町歯科保健プロジェクト会
議」において企画検討し、横断
的に健康づくりに取り組み、生
涯にわたる生活の質の向上を
図ってまいります。

◆相野谷診療所

相野谷診療所につきましては、
事業所検診や生活習慣病予防検
診、がん検診などの各種検診業
務について、引き続き行政・関
係機関と連携を図り事業を行っ
てまいります。

また、平成30年3月末で整備が
完了をいたします林地台帳を活用
し、森林組合や森林所有者が保有
する新しい情報を地図情報等に反
映させ、台帳の精度向上に努め、
効率的な森林施業につなげ林業振
興を図ってまいります。

◆水産業

水産振興につきましては、漁獲
量の拡大や高付加価値化・販路拡
大・コスト削減等、漁業所得の向
上を目指す、「浜の活力再生プラ
ン」の策定を進めており、漁場の
環境整備や衛生面に配慮した施設
整備等、プランに沿った取り組み
を支援し水産振興を図ってまい
ります。

◆道路関係

本町における高規格幹線道路
は、平成25年度に「一般国道42号
新宮紀宝道路」が事業化されて以
降、国土交通省により各種調査、
道路詳細設計などが行われており
ます。

平成29年度より、用地取得業務
にも着手し、地権者のみなさまの
ご理解を頂く中、着実に事業が進
捗している状況であり、地権者の
みなさまを始めとする関係各位に

また、地域医療につきましては
は、地域ニーズを把握し、包括的
に地域の実情に合わせて、事業の
推進を図ってまいります。

◆農業委員会

産業建設課関係につきましては
は、平成28年4月1日に施行さ
れた改正農業委員会法により、
紀宝町農業委員会におきまして
も任期満了となる平成30年7月
から、新制度での活動がスター
トを致します。

また、農業委員とは別に、農地
利用の最適化の推進のため、新た
に農地利用最適化推進委員を設
置し、本町の農業の振興と発展を
目指し、遊休農地および荒廃農地
の解消を図り、意欲ある担い手へ
の農地集積や新規就農者への支援
を行ってまいります。

◆農業関係

農業関係につきましては、主食
用米の生産数量目標の撤廃や、米
の直接支払交付金が廃止され、小
規模農家への影響が懸念されるこ
とから、町といたしましては、国
からの情報を基に、県やJA等の
関係機関と生産需給調整を行い、
米価の安定に努めてまいります。

対し心から感謝申し上げます。

平成29年12月23日には、新宮市
側の仮称新宮北IC付近で工事に着
手することから、国土交通省、三
重・和歌山両県、新宮市、紀宝町
の共催により「一般国道42号新宮
紀宝道路起工式」が新宮市の大浜
体育館で盛大に開催され、工事の
安全を祈願しました。

引き続き、国土交通省および三
重県「近畿道紀勢線推進プロジェ
クトチーム」、産業建設課内に設
置しております「新宮紀宝道路推
進室」が連携を密にし、地権者の
みなさまのご理解を賜るなか、関
係機関、また地域住民のみなさま
との調整を図り、「一般国道42号
新宮紀宝道路」の早期完成に向
け、事業を推進してまいります。
さらに、紀伊半島を一周する高



新宮紀宝道路起工式（平成29年12月23日）

さらに、小規模農家に対する新
たな支援策について、国、県に対
し求めてまいります。
その他農業関連の支援施策につ
きましては、流通業者、消費者等
に対するPR媒体の支援や、柑橘
類の高品質化を進めるためのマル
チ栽培に係る資材購入の助成を行
い、品質・安全管理等も含めた6
次産業化、高付加価値化の取り組
みを推進してまいります。

◆県営中山間地域総合整備事業

「県営中山間地域総合整備事業
紀宝中部2期地区」につきまし
ては、桐原地区の営農飲雑用水
施設を始め、老朽化した農業用
施設や集落道路などの整備計画
を策定し、平成29年度から事業
を開始しております。

平成30年度は桐原地区の営農
飲雑用水施設整備の水量調査・
詳細設計を実施し、平成31年度
から本工事に着手していく計画
であり、町といたしましても事
業実施にあたり、県および地域
住民の方々との連携を密にし、
円滑に事業を進めてまいります。

◆獣害対策

獣害対策につきましては、地

速道路の計画的かつ早期実現に向
け、三重・和歌山両県の関係7市
町村で構成する「近畿自動車道紀
勢線（熊野市・新宮市間）建設促
進期成同盟会」におきましても、
未事業化区間を早期に新規事業化
すること、「一般国道42号新宮紀
宝道路」「一般国道42号熊野道路」
を早期完成すること、道路関係予
算を増額することなどを強く推進
してまいります。

◆町道の整備・補修

次に、平成30年度の建設工事に
つきましては、「道整備交付金事
業」を活用した、町道相野口永田
線改良工事を始めとする21路線の
改良工事および、「社会资本整備
総合交付金事業」を活用した、跡
田3号橋（大里）を始めとする4
橋の橋梁修繕工事および、橋梁点
検、鶴殿小学校前踏切の拡幅工
事、鶴殿地区の新橋梁の右岸側橋
梁下部工に着手してまいります。
今後も引き続き、安全・安心な
住み良いまちづくりを基本目標
に、道路施設の予防修繕と計画的
な道づくりを進めてまいります。

◆教育関係

教育関係につきましては、平
成27年度より「紀宝町総合教育



GG（グリーン・グロー）作戦

域住民のみなさまへの理解を深
めて頂くため、講習会の開催や
侵入防止柵の設置補助、捕獲檻
の貸し出し等の取り組みを行っ
てまいりました。

引き続き、講習会の開催や啓発
活動を行い、さらに猟友会の方々
に対する支援や、農地への侵入を
防止する対策を実施し、被害の軽
減に努めてまいります。

◆林業

林業振興につきましては「みえ
森と緑の県民税」等を活用し、紀
宝町の自然の魅力を再発見する場
として、講演会や体験講座等の開
催、さらに、自伐林家への木質パ
イオマス発電用の間伐材搬出の補
助、公共施設の周辺緑地や生活道

会議」を設置し、「紀宝町教育大
綱」を策定しました。現在、こ
の大綱に基づきまして、教育、
学術および文化の振興に関する
総合的な施策を推進しているこ
ろであります。

学力向上の取り組みにつきまし
ては、平成26年度から、「紀宝町
学力向上推進協議会」を核として
推進しており、これまで「全国学
力学習状況調査」や「みえスタ
ディ・チェック」の結果を踏ま
え、子どもたちの確かな学びの保
証と、豊かな成長のために、教職
員の指導力の向上を図りつつ、学
校全体で授業改善等に努めている
ところであります。

平成30年度におきましても、児
童生徒の更なる学力向上を目指し
て、継続して各種の取り組みを推
進してまいります。

また、放課後に各小学校におい
て自主学習の時間を設定すること
により、放課後の子どもたちの安
全・安心の居場所づくりや、子育
て支援にもつながる「放課後サポ
ースクール」、さらに長期休業中に
各小学校区単位の5会場で実施す
る「サマースクール」、「ウィンター
スクール」を引き続き実施し、児
童一人ひとりに応じた、個別の自
主学習の支援を行ってまいります。

科学への興味・関心をより一
層高めるとともに、親子で楽し